

平成28年度 各種調査結果等を活用した学力保障の取組事例

事務所名	県南教育事務所	学校名	一関市立猿沢小学校	TEL	0191-76-2022
------	---------	-----	-----------	-----	--------------

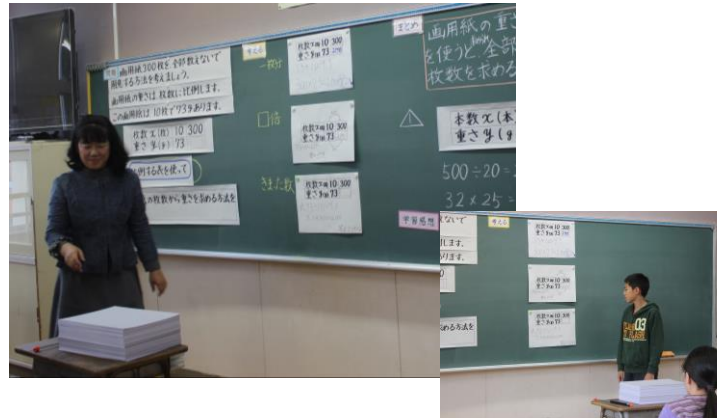
学校と家庭が一体となった学力保障の取組

【今年度の目標】

- ・数値目標は、県比を国語100、社会100、算数100、理科100とする。
- ・学習アンケートで授業がわかると答える児童が90%以上、わからないと答える児童が0%とする。
- ・家庭学習に毎日60分以上取り組む児童が60%以上、30分未満0%とする。(5年生)

【組織的な対応を図る上で工夫した点】

- 1 学力向上計画の共有化と調査問題の分析
- 2 学力の課題を視点とした授業改善の取組
- 3 基礎基本の定着をめざした日常実践と家庭との連携



【具体的な取組】

1 学力向上計画の共有化と調査問題の分析

(1) 学力向上計画の作成と共有

①調査結果から明らかになった課題をもとに、学力向上計画を作成した。

②4月の校内研において、調査結果活用レポートと学力向上年間計画を示し、本校の学力の課題改善に向けた方向性や取組を全職員で共有した。

(2) 調査結果の活用

①全国学調問題の分析を全職員で行い、問題の内容、記述のポイントなどについて話し合った。そして、本校の課題と課題を解決するための共通実践について共有化を図った。

②今後、県学調、CRT検査結果の分析を全職員で行い、改善、計画について共有化を図る予定である。

学力向上年間計画

月	月別内容	チャレンジテスト
4月	・家庭学習のしおりを配布 ・知能検査(2・5年) ・全国学力・学習状況調査(6年)	
5月	授業実践	国語
6月	・家庭学習強化週間(がんばる子カード) ・全校音読検定(1回目)	算数
7月		
8月	・全国学力・学習状況調査問題の分析	国語
9月	・学習内容の復習	算数
10月	・岩手県学習定着度状況調査(5年)	国語
11月	・家庭学習強化週間(がんばる子カード) ・学習内容定着強化月間	算数
12月	・CRT検査(全学年) ・九九検定(2年)	
1月	・岩手県学習定着度状況調査問題の分析 ・CRT検査結果の事後分析と指導計画・実施	国語
2月	・全校音読検定(2回目)	算数
3月	・CRTの補充指導の成果の確認	

全国学調問題の正答率が低い問題の分析の様子

【問題】
図1のように、1辺の長さが1cmの立方体がある。この立方体の表面積を求めよ。

【解答】
1辺の長さが1cmの立方体であるから、1つの面の面積は1cm²である。立方体には6つの面があるから、表面積は6cm²である。

【問題】
図1のように、30°、60°、90°の角をもつ直角三角形がある。この三角形の面積を求めよ。

【解答】
30°、60°、90°の角をもつ直角三角形であるから、短辺の長さを1とすると、長辺の長さは√3、斜辺の長さは2である。したがって、面積は1/2 × 1 × √3 = √3/2 である。

【問題】
図1のように、30°、60°、90°の角をもつ直角三角形がある。この三角形の面積を求めよ。

【解答】
30°、60°、90°の角をもつ直角三角形であるから、短辺の長さを1とすると、長辺の長さは√3、斜辺の長さは2である。したがって、面積は1/2 × 1 × √3 = √3/2 である。

国語も算数も文字数や決められた言葉などの条件に合うように文を書くことは難しいようだな。

書く活動も条件を入れて書かせることを取り入れていきたいね。



計算だけではなくて、計算方法の意味まで説明できるようにしないとね。

グラフや表の読み取りは、日常的に扱うようにしていかないと、身につにくいな。

2 学力の課題を視点とした授業改善の取組

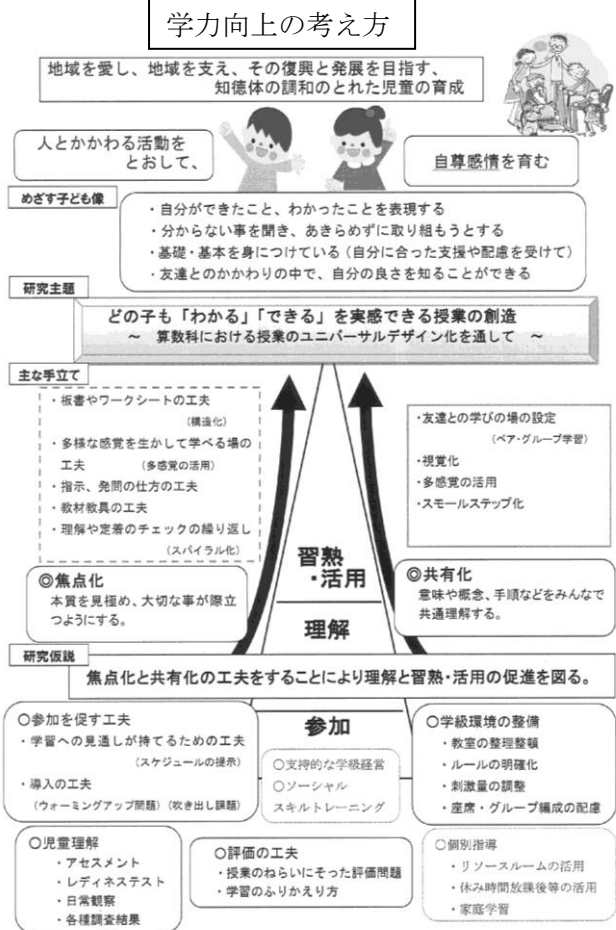
昨年研究主題として授業のユニバーサルデザイン化に取り組んだことにより、授業がわかると答える児童が多くなったことから、今年度も継続して学習環境と授業改善にユニバーサルデザインを取り入れていくことを教職員で確認した。

(1) 指導方法の工夫・改善

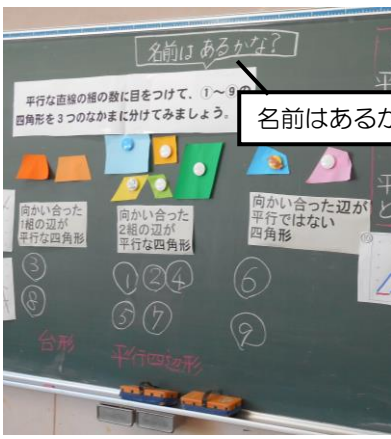
- ①授業の焦点化・視覚化を意識して、どの子にもわかりやすい授業を目指した。
- ②学習の共有化をめざし、ペアや小グループでの学び合いを積極的に取り入れ、本校の課題である自分の考えを書いてまとめたり、話したりする表現力の育成を図った。
- ③授業の終わりには、学習感想をノートに書いて学びを振り返るようにした。「わかったこと」、「友達から学んだこと」を振り返りの観点とすることを全職員で確認し、実践に取り組んだ。

(2) 学習環境の整備

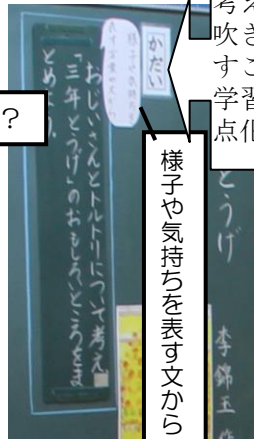
- ①黒板周辺・ロッカーや机の中などを中心とした教室の整理整頓について統一性をもたせた。
- ②学習道具や学習中のルールを明確にした。



板書による授業の焦点化・視覚化

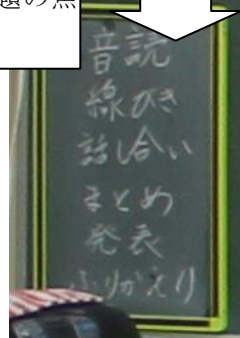


名前はあるかな?



考える視点を吹き出しで示すことによる学習課題の焦点化

様子や気持ちを表す文から



学習の見通しを示した小黒板

ペア学習による共有化



相手と自分の考えの共通点や違いを見つける。

自分の考えをまとめたり、学習を振り返ったりすることを位置付けたノート

10月25日 3年生児童のノート

問 2.8はどのような数かいいましよう。

(考え)

2.8は、2.0と0.8をあわせた数です。

2.8は、0.1を28に集めた数です。

2.8は、3.0より0.2小さい数です。

学習感想

小数と整数と同じようにいろいろ見方があることがわかりました。数直線を使うとわかりやすかったです。

自分の考えを説明する文を書く。

授業を振り返り、学習感想を書く。

3 6年生児童のノート

ツバメは、時速70kmで飛ぶことができます。ツバメが、3時間で進むことができる道のりを求めましよう。

課題 道のりの求め方を考えよう

時速 km = 1時間に km進む速さ

式 $70 \times 3 = 210$ 210km

1時間で70kmなので1時間が3倍になった3時間だと70kmも3倍になると思ったから。

道のりを求める公式

↓

道のり = 速さ × 時間

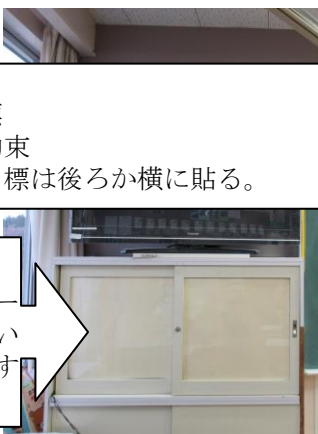
A式 $800 \times 5 = 4000$

$4000m = 4km$ 4km

学習感想

道のりを求める公式と速さを求める公式が混ざらないようにしたい。

黒板周辺の学習環境整備



黒板上
教育目標
学習の約束
※学級目標は後ろか横に貼る。

教師用たな
色画用紙(クリーム色などの薄い色)で目隠しをする。

黒板
月日、日直程度は書いてもよい。余計なものは貼ったり、書いたりしない。

黒板横掲示板
掲示物がある場合は、カーテンを授業中に閉じる。時間割表、日課表は前面には貼らない。

教卓
基本的に置かない。必要な時だけ置く。どうしても置きたい場合は、児童用机など、視線の妨げにならない大きさの物にする。

3 基礎基本の定着をめざした日常実践と家庭との連携

(1) 基礎基本の定着

- ①毎週水・金曜日の朝学習を「ドリルタイム」とし、漢字と計算を中心に繰り返し学習の時間とした。
- ②毎週水・木・金曜日の朝学習5分間は、全校で音読に取り組んだ。
- ③年間を通して8回「チャレンジテスト」として毎学期の学習内容から問題を作成し、実施した。

(2) 補充指導・個別指導

- ①6月、2月に校長、副校長が全児童の音読検定を行い、継続した音読の取組を行った。
- ②2年生の九九検定を校長が行い、必要に応じて担任外も指導した。

(3) 家庭との連携

- ①全学年で家庭学習に音読を取り入れ、保護者にも継続して聞いてもらい、音読発表や音読検定につなげていった。
- ②家庭学習強化週間として、年に2回「がんばる子カード」を使って自分の学習の仕方を振り返りながら、保護者にも学習の様子を見てもらい、家庭学習への意欲化を図った。

平成28年度 音読検定カード

6月	2月
読むところ「 きいてくれる先生」	読むところ「 聞いてくれる先生」
校長先生・副校長先生	校長先生・副校長先生
月 日()	月 日()
・一語一語はつきり	・一語一語はつきり
・いそがずゆっくり	・いそがずゆっくり
・、や。でしっかりとまる	・、や。でしっかりとまる
1音節・2音節・3音節 答ました	1音節・2音節・3音節 答ました

音読検定カードと検定の様子



【成果】

1 数値目標について (H28 県学調結果より)

- 国語、社会で正答率県比100を達成することができた。
- 算数を観点別に見ると、「数学的な考え」が県比105であった。これは、本校の課題である「条件に合うように書く」ことを意識した授業を行った成果と言える。
- 国語を領域別に見ると、「話すこと・聞くこと」が県比106であった。ペアや小グループでの話し合いを積極的に取り入れ、交流の機会を多く設けたことが一因と考えられる。

2 わかる授業について (H28 県学調児童質問紙より)

- 「授業がわからない」と答える児童0%を達成できた。学習課題を吹き出しなどで焦点化したこと、授業の流れを小黒板に提示し1時間の見通しをもたせたこと、ペア学習で学習を共有化できたこと、毎時間振り返りをノートに記述し、「わかった」を実感させたことなどが結果につながったと考えられる。

3 家庭学習時間について (H28 県学調児童質問紙より)

- 家庭学習に毎日60分以上取り組む児童が69%、30分未満0%と目標を達成することができた。「チャレンジテスト」、「音読検定」、「がんばる子カード」の取組により、家庭学習に目的をもたせたこと、家庭と連携することができたことが結果につながったと考えられる。

がんばる子カード

児童記入用 (表)

めあて
出来るだけたくさん二重丸をつけられるようにする。

	20日(月)	21日(火)	22日(水)	23日(木)	24日(金)	25-26日(土日)
宿題	◎ △×	◎	◎	◎	◎	◎
自学	◎ △×	◎	◎	◎	◎	◎
音読	◎ △×	◎	◎	◎	◎	◎
教科書	○	○	○	○	○	○
ノート	○	○	○	○	○	○
下しき	○	○	○	○	○	○
えんぴつ	○	○	○	○	○	○
消しゴム	○	○	○	○	○	○
色鉛筆	○	○	○	○	○	○
消しゴム	○	○	○	○	○	○
きんぎょ	○	○	○	○	○	○
ハンカチ	○	○	○	○	○	○
ちり紙	○	○	○	○	○	○
運動靴	○	○	○	○	○	○
マスク	○	○	○	○	○	○
歯ブラシ	○	○	○	○	○	○
コップ	○	○	○	○	○	○
カステラ	○	○	○	○	○	○
給食箱	○	○	○	○	○	○
提出物	○	○	○	○	○	○
感想	二重丸をたくさんつけてくれた。お家の人から自分から自分で宿題をやって、すくすく進んでいきました。しっかり勉強して、良のたと思いき。高学年になつてから、強くなることが出来て良かった。特にいろいろは自分でチャレンジしているのが、これだけ続けてほしい。					

平成28年度 豊原小学校 がんばる子カード 保護者への説明 (裏)

めあて

	20日(月)	21日(火)	22日(水)	23日(木)	24日(金)	25-26日(土日)
宿題	◎ △×	◎	◎	◎	◎	◎
自学	◎ △×	◎	◎	◎	◎	◎
音読	◎ △×	◎	◎	◎	◎	◎
教科書	○	○	○	○	○	○
ノート	○	○	○	○	○	○
下しき	○	○	○	○	○	○
えんぴつ	○	○	○	○	○	○
消しゴム	○	○	○	○	○	○
色鉛筆	○	○	○	○	○	○
消しゴム	○	○	○	○	○	○
きんぎょ	○	○	○	○	○	○
ハンカチ	○	○	○	○	○	○
ちり紙	○	○	○	○	○	○
運動靴	○	○	○	○	○	○
マスク	○	○	○	○	○	○
歯ブラシ	○	○	○	○	○	○
コップ	○	○	○	○	○	○
カステラ	○	○	○	○	○	○
給食箱	○	○	○	○	○	○
提出物	○	○	○	○	○	○
感想	一通問取り組むのでの感想を子どもたちが記入します。					
お家の人から	お子さんの様子をご覧になって、頑張っていたこと、気がついたことや励まし等を記入してください。					

◎○△はこんな様子です。
◎ 自分からできた。丁寧に取組んだ。確かめをした。など
○ できた。決められたことを終わった。読書は1日10分。
△ 言われてからやった。やったが雑になった。途中で終わった。
× やらなかった。

お子さんと一緒に確かめながら、または保護者の方が確かめて○をつけてください。
・持ち物には必ず名前を書きます。
・学習や学校で使うものだけ、持ってきます。
・学習の時に遊びたくなるものや、機能や飾りの多いものは持ってきません。
(特に、キャップ・消しゴム・定規等。シャープペンシルは使用しません。)

週の始めに用意するものです。月曜日に記入をお願いします。残りは斜線を引いてください。忘れたときは、持って行った曜日に印を付けます。

月曜日の準備をして確認します。土日のどちらの日でもよろしいです。